

UBMPS とウランバートル市の現在の交通状態

九州大学国土政策・防災学研究室 学生会員 Ishtsog JADAMBA

1. 目的

2013年にJICAがウランバートル市の2030年を目標として2007年3月から2009年2月までの調査期間でモンゴル国ウランバートル市都市計画マスタープラン・都市開発プログラム(UBMPS)を実施した。その中から都市交通システムに絞り、UBMPSの2019年のウランバートル市の交通状況と現実のウランバートル市交通状況を比較することを研究の目的とした。比較した結果に分析しUBMPSが現実と違っている場合、その理由を見つけ出して今後どんなことをしていけば2030年の目標に達成するか、次回マスタープランを作るときどんなところに注意すべきであるかを考察する。

2. 内容

ウランバートル市の交通状況は、歩行を除いて230万トリップ/日、歩行を含めると340万トリップ/日である。ウランバートル市の市街地中心部の道路交通量は、1998年から2007年の10年間に2倍となり、走行速度は40km/時から25~30km/時に低下した。ウランバートル市の交通セクターは、交通渋滞の悪化、交通安全の低下、公共輸送機関のサービス低下、道路利用者の交通ルール遵守の不徹底、交通運用の管理不足、交通インフラの整備不足など多くの克服すべき課題を抱えている。UBMPSによると2030年の人口が2倍になり、自動車保有世帯数は3倍に増加し、自動車登録台数は6倍に達すると予測し、2030年までに交通インフラ整備行わないと市内の主要幹線道路のほとんどが深刻な交通渋滞になり、歩道速度が11.8km/hになると予測した。しかし2019年のウランバートル市のホームページによるとピーク時間に自動車歩道速度が8km/hまで低下している。つまり、最悪では2030年に11.8km/hになると予測したのに10年前に8km/hになっていることが問題になっている。

3. 結果

UBMPSでは2007年のデータと2030年のデータがあるが、その間のデータが記載されていないので2019年のデータを予測し、モンゴルから現在交通に対するデータを集まって、その2つを比較する。しかし、JICAがマスタープランを作るときトリップ数、歩高速度などを重視したが、モンゴルは逆にJICAがあまり計っていない自動車数を重視している。現在は比較する出来るように集まったデータは人口、自動車保有世帯数と世帯数と歩行速度である。得られるデータと得られないデータを下に示す。

自動車保有世帯数(台数)			
年	実際の値	UBMPS	UBMPS 値 に対しての 違い (%)
2010	-	52060	11782
2013	-	87406	-
2014	-	99188	-
2015	137729	110970	24.1
2016	137860	122752	12.3
2017	141356	134534	5.1
2018	163118	146316	11.5
2019	-	158098	-
2020	-	169880	-
2025	-	228790	-
2030	288000	287700	-

表 1 自動車保有世帯数の比較

世帯数			
年	実際の値	UBMPS	UBMPS 値 に対しての 違い (%)
2010	294416	260300	13.1
2013	329779	293600	12.3
2014	352812	304700	15.8
2015	379419	315800	20.1
2016	380828	325760	16.9
2017	386218	335720	15
2018	387453	345680	12.1
2019	-	355640	-
2020	-	365600	-
2025	-	417200	-
2030	-	479500	-

表 2 世帯数の比較

ウランバートル市の人口(人)			
年	実際の値	UBMPS	UBMPS 値 に対しての 違い%
2000	760100	735500	3.3
2005	1015950	953200	6.6
2013	1318100	1250720	5.4
2014	1362974	1287910	5.8
2015	1396288	1325100	5.4
2016	1440447	1367640	5.3
2017	1462973	1410180	3.7
2018	1491375	1452720	2.7
2019	1564912	1495260	4.7
2020	1638449	1537800	6.5
2025	1885388	1695800	11.2
2030	2115439	1870000	13.1

表 3 人口の比較

歩行速度(km/h)			
年	実際の値	UMBPS	
		Do nothing	Compact City
1998	30.46	30.46	
2007	26.7	26.7	
2019	10.5	18.9	19.55
2030	-	11.8	13

表 4 走行速度の比較

歩行速度がここまで遅くなっているのは UBMPS があまり実現されていないと思われる。そのため UBMPS が提案した交通に関するプロジェクトがどれぐらい実現されているかを調べ、UBMPS で提案したことを従っていたのに現在の状態になったか、それとも JICA の提案を従っていなかったため今の状況になったかを考察する。そしてプロジェクトが実現されていない理由を考察する。